



一人1台の端末を活用した新たな学習で

「GIGAスクール構想」× 東海村

子どもたちの**学び**が広がります

「GIGAスクール構想」とは、一人に1台の端末と、学校における高速大容量の通信ネットワークを整備することで、子どもたち一人ひとりに適した学びの環境を整え、創造性を育む学びを実現する取り組みです。ICT（情報通信技術）機器を活用することで、子どもたちが課題を発見・解決し、自分の考えを形成していくために必要な力を育むことを目指します。

今回は、村内の小・中学校におけるGIGAスクール構想実現に向けた整備の状況について紹介します。今後の進捗状況については、「広報とうかい」や村公式ホームページなどで随時お知らせします。

【問い合わせ】教育委員会指導室 ☎282-1711 内線1416

GIGAスクール構想の実現に向けて…

【現在の整備状況】

- ▽村内全ての小・中学校で、**児童・生徒一人につき1台のタブレットパソコンの配備が完了**しました。
- ▽各教室に充電器付きの「タブレットパソコン保管庫」を設置し、校内ネットワーク工事、校内無線LAN機器の整備が完了しました。
- ※ネットワークの増強工事や電子黒板の配備などは、今後さらに整備を進めていきます。

【現在行っている取り組み】

- ▽学校関係者や社会教育施設関係者、役場関係各課による「GIGAスクール構想推進プロジェクトチーム」を結成し、タブレットパソコンの効果的な活用方法について検討を行っています。
- ▽一部の学校で、試験的にタブレットパソコンの持ち帰りを行っています。

※GIGA…Global and Innovation Gateway for All の略で「全ての人のためのグローバルで革新的な入り口」の意味。

授業でこんなことができるように！

～ICTの活用により充実する学習の例～

共同学習の充実

▽リアルタイムで情報を共有したり、意見を集約したりできる ▽プレゼンテーションツールを使い、自分の発想やアイデアを発表できる

探究的な学習の充実

▽ICT環境が身近になることで、ICT機器の活用になれることができる ▽調べ学習などで、最新の情報を収集できる ▽授業内容の「見える化」で、より深い理解を得られる

学校内外の人とつながる学習の充実

▽テレビ会議システムを利用し、遠隔授業や集会などをオンラインで実施できる ▽クラウドの活用により、学校以外でもデータを共有できる

今後はどんな使い方をしていくの？

～学校・家庭・地域がつながる学びへ～

